

事業所名 ぽんぽこはうす2

## 支援プログラム（参考様式）

作成日

令和6年

10月

1日

法人（事業所）理念		安心・安全							
支援方針		SST・TEACCHプログラム・運動療育・集団療育を取り入れ日常生活における身の回り行動（身辺自立）を行えるようにサポートする。外遊びを通して「お友達と一緒に～にする」をテーマに集団の中で他者と上手に関わることを訓練します。							
営業時間		9時	30分	から	18時	30分	まで	送迎実施の有無	あり
支 援 内 容									
本人支援	健康・生活	<p>基本的な生活スキルの獲得…作業療育を通して手先の使い方、力の使い方を学び、食具を使用し食事ができるように。身の回りを清潔に保てるように手の洗い方の習得を習慣化する。汚れの認識をし、綺麗にする事を学ぶ。片付けは物の場所を視覚的に分かりやすくし、身に付けられるように。勉強する場所、食事する場所、遊ぶ場所を分かりやすく構造化することにより過ごしやすくしている。</p> <p>生活リズムを身につける…スケジュールの提示、同じ時間に食事、排泄誘導をする。</p>							
	運動・感覚	<p>外遊び・体操を通して運動能力の向上。週1回の運動療育の実施。他児童と協力しての遊び。</p> <p>姿勢の保持…作業療法士に助言してもらい体幹の強化・姿勢の習得。</p> <p>工作…季節を感じられる作品作り。指先や手で感覚や感触を感じ、興味を持ってもらえる取り組み。</p> <p>季節に応じた行事の実施。</p>							
	認知・行動	<p>作業療育によるマッチング、ひも通し、型はめ、プットインなどを行うことにより数量、大小、色、空間の概念形成の習得。</p> <p>物の場所・置き場所を視覚的に分かりやすくし、片付けやすくする。スケジュールを視覚的に分かりやすく提示。切り替えの時にはタイムタイマーを使用し切り替えやすくする。</p> <p>工作…工程表を使用することにより見る力、真似る力をつけ、就業に繋がるようにスモールステップで支援を行う。</p> <p>音が苦手な児童には落ち着ける場所を提供。</p>							
	言語 コミュニケーション	<p>オノマトペカードを使用し、発語を促す訓練。絵カード、ペクス、文字、サインを使用し、自分の思いを表出できるように児童に合わせて支援する。</p> <p>集団療育や余暇時間にいろいろな年代の児童と関わりを持てる場を提供し、集団行動ができるように。</p> <p>運筆練習、お勉強プリント、絵本の読み聞かせ。</p> <p>他者に自分の気持ちを伝えるや他者の気持ちの理解ができるように気持ちの絵カードを使用。</p>							
	人間関係 社会性	<p>買い物支援…スーパーやマクドナルド等に行き、お金払う、袋に詰める、注文することを実際に経験しルールや社会性を学ぶ。</p> <p>興味を持てる遊びを通して参加する手段や、ルールを理解し集団活動に参加できるように支援する。</p> <p>職員と児童との信頼関係の形成。</p> <p>月1回の遠足で施設以外での人との関わり、その場に合ったルールを学ぶ。</p>							
家族支援		家庭での困りごとに対するサポート 延長サービス 年2回のモニタリング			移行支援		学校、関係機関との連携		
地域支援・地域連携		近隣スーパー、飲食店での買い物 四天王寺大学との交流			職員の質の向上		定期的な研修 毎日のミーティングによる情報共有 各種委員会の設置		
主な行事等		土、祝…家庭科療育／買い物支援 日…運動療育 月1回…遠足 年2回…避難訓練 季節行事…水遊び、秋祭り、ハロウィンパーティー、クリスマス会、初詣							